

編集後記

第55巻第3号をお届けします。判型がA5判縦書きからB5判横書きに変更になって2年目、この間、ありがたいことに原稿の投稿状況は順調で、学位論文の投稿もまま見受けられます。こうした情勢をふまえ、このところ編集委員会では、論文収載号の発行遅延を改善するために、本誌の発行ペースを増やすことができないかという議論が出ています。こうした問題にメリットとデメリットはつきもので、なお今後の検討課題となっています。この場を借りて、会員各位に編集委員会での話題を提供させていただきます。

従来、明確に定めていなかった原稿の種別と長さについても、先の新投稿規定(平成20年6月21日改訂)においてその原則を掲げましたが、改定以来、日も浅いためか、目下のところは長大な論文の投稿も中にはあって、編集委員会としては対応に困るケースも出ています。会員各位のご理解とご協力を得て、新規定の定着の速やかならんことを望むものです。

本誌編集委員の中西淳朗氏が逝去されました(8月17日)。中西委員は平成8年から長年にわたって本誌発行に尽力されました。本号掲載論文がその遺稿となってしまったこと、またその生前に発行が間に合わなかったことが、今は惜しまれます。合掌。

(町 泉寿郎)